経営比較分析表(平成29年度決算)

千葉県地方独立行政法人宣命九十九甲地域医療センター 宣千葉メディカルセンター

「米水心がは五日本風パネ並が「ルエ心中世界とファー・ネーネア・イングとファ				
法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
地方独立行政法人	病院事業	一般病院	300床以上~400床未満	非設置
経営形態	診療科教	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	20	-	I	救 臨 災 輪
人口 (人)	建物面積(m²)	不採算地区病院	看護配置	
_	29 465	非該当	7 · 1	

許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)	
314	_	_	
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)	
-	-	314	
稼働病床 (一般)	稼働病床 (療養)	稼働病床 (一般+療養)	
245	-	245	

- グラフ凡例
- 当該病院値(当該値)
- 類似病院平均値 (平均値)
- 【】 平成29年度全国平均

- ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン(放射線)診療
- ※2 教・・・教念告示病院 臨・・・臨床研修病院 が・・がん診療連携拠点病院 感・・感染症指定医療機関 へ・・・へき地医療拠点病院 災・・災害拠点病院 地・・・地域医療支援病院 特・・・特定機能病院 輪・・病院群輪番制病院

1. 経営の健全性・効率性







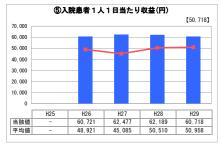


「経常損益」

「医業損益」

「累積欠損」

「施設の効率性」









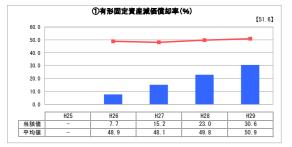
「収益の効率性①」

「収益の効率性②」

「費用の効率性①」

「費用の効率性②」

2. 老朽化の状況







「施設全体の減価償却の状況」

「器械備品の減価償却の状況」

「建設投資の状況」

への後方支援の充実を図っている。

救急医療については、山武長生夷隅保健医療圏の 唯一の三次救急医療提供機関として24時間・36 5日体制で患者の受入に対応するとともに 他の痣 院群輪番制病院との役割分担のもと二次救急医療等

地域において担っている役割

地域の中核病院として、小児医療・周産期医療を 提供するほか、災害拠点病院として、医療救護活動 の拠点としての機能を担っている

地域医療機関等との相互連携を強化するなかで、 地域医療支援病院の承認に向けた準備を進めてい

Ⅱ 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

平成26年4月の開院以来、段階的な診療科 の開設と病棟の開棟を図りつつ、地域の管外搬 送率の改善に寄与するなど成果を挙げている一 方で、病棟の開棟の遅れなどにより、医業収益 が大幅に見込みを下回り、厳しい病院経営が続 いている。

経常収支比率・医業収支比率・累積欠損金比 率については、費用超過の状況が継続してお り、類似病院平均値との比較においても非常に 厳しい水準にあると認識している。

職員給与費対医業収益比率・材料費対医業収 益比率については、段階的な病棟の開棟に伴う 収益規模の拡大などにより、部分的な改善はみ られるものの、なお厳しい水準にあることか 、新たな施設基準の取得や材料費・委託料の 適正化など、人材・施設設備を最大限に活用 、収益の確保と費用の合理化に向けた取組を

老朽化の状況について

平成26年4月開院の新設病院であり、計画 的に施設及び機械備品に対する投資が実施され こと認識している。

今後の機械備品の導入・更新等にあたって は、その必要性と収支状況等を総合的に勘案し つつ、中長期的な投資計画に基づいて整備して いくこととしている。

全体総括

安全で質の高い医療の提供体制と安定した経 営基盤の確立に向けて、中期目標・中期計画、 そして新公立病院改革プランに定められた数値 日標を達成するため、これまでに蓄積した成果 等を踏まえ、着実に経営改善に向けた取組を進 めていくこととしている。

許可病床314床 (稼働病床245床)の全 部の稼働に向けた病棟の開棟にあたっては、 医 師・看護師等の医療従事者の確保、医療需要の 動向、病院経営の効率性・安定性等を考慮した うえで、計画的に実施していくこととしてい

今後も計画の進捗状況を適正に管理し、着実 こ推進していくため、設立団体・千葉県・千葉 大学医学部附属病院等の関係機関との情報共 有・連携の強化を継続する。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。